

平成21年9月1日

保護者様

大阪府立東淀川高等学校  
保健室

### 麻しん（はしか）のワクチン接種について

初秋の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、7月に麻しんワクチンの接種状況についてアンケートを実施しましたが、まだ接種されていないお子様が多くいらっしゃいました。

麻しんは麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力がきわめて強く、感染者の90%以上が発症します。そして発症した時の決定的な治療方法がありません。合併症として、急性期には肺炎、脳炎、数年後に亜急性硬化性全脳炎といった重篤な合併症や死亡を引き起こすことがあります。個人でできる唯一有効な予防方法は麻しんワクチン接種により免疫を獲得しておくことです。

アンケートで、接種していない理由に、既に1回接種しているからと答えられた方もいらっしゃいましたが、ワクチンは2回接種が必要です。2回接種の必要な理由としては、①1回の接種で免疫がつかなかった人（数%存在すると考えられています）に免疫を与えること②1回接種で免疫がついたにも関わらずその後の時間の経過とともにその免疫が減衰した人（ワクチンによる免疫持続期は10年程度と考えられています）の免疫を強化することです。ワクチンを2回接種すれば免疫が持続します。

今回のワクチンは麻しん風しん混合ワクチンです。風しんも大人がかかると重症になることが多く、また、妊娠初期にかかると赤ちゃんが先天性の病気を持って生まれる危険性があります。

無料でワクチン接種を受けられる唯一の機会です。お子様が早めにワクチン接種を受けられますように強くお勧めします。

なお、実施期間以外は公費負担ではありませんのでご注意ください。